

**果樹情報 第3号** (R8.4.8～R8.4.21)

県中農林事務所須賀川農業普及所・JA 夢みなみ(すかがわ岩瀬地区、あぶくま石川地区)

**1 生育状況(須賀川管内、4月4日現在)**

本年の発芽状況については、以下の表のとおりとなっています。

表1 須賀川地域・石川地域における発芽概況

| 品目・調査品種  | 調査地点 | 発芽    |       |               |               |
|----------|------|-------|-------|---------------|---------------|
|          |      | 本年    | 昨年    | 平年<br>(直近30年) | 平年<br>(直近10年) |
| もも「あかつき」 | 須賀川市 | 3月20日 | 3月25日 | 3月24日         | 3月23日         |
| 日本なし「幸水」 | 須賀川市 | 3月29日 | 3月25日 | 4月1日          | 3月27日         |
| 日本なし「豊水」 | 須賀川市 | 3月28日 | 3月25日 | 3月30日         | 3月25日         |
| りんご「ふじ」  | 須賀川市 | 3月27日 | 3月26日 | 3月30日         | 3月27日         |
| りんご「ふじ」  | 鏡石町  | 3月29日 | 3月26日 | 3月30日         | 3月27日         |
| りんご「ふじ」  | 石川町  | 3月29日 | 3月26日 | 3月31日         | 3月27日         |

## 参考 管内における平年の開花日

| 品目・調査品種  | 調査地点 | 昨年    | 平年      |         |
|----------|------|-------|---------|---------|
|          |      |       | (直近30年) | (直近10年) |
| もも「あかつき」 | 須賀川市 | 4月11日 | 4月13日   | 4月7日    |
| 日本なし「幸水」 | 須賀川市 | 4月21日 | 4月21日   | 4月17日   |
| 日本なし「豊水」 | 須賀川市 | 4月17日 | 4月18日   | 4月13日   |
| りんご「ふじ」  | 須賀川市 | 4月22日 | 4月26日   | 4月21日   |
| りんご「ふじ」  | 鏡石町  | 4月23日 | 4月26日   | 4月22日   |
| りんご「ふじ」  | 石川町  | 4月23日 | 4月27日   | 4月23日   |

**2 開花予測(福島県農業総合センター果樹研究所 令和8年4月1日現在)**

果樹研究所(福島市飯坂町)における果樹の開花は、気象庁の気温予報を反映した気象予測では、もも「あかつき」が4月5日頃で平年より7日早く、なし「幸水」が4月13日頃で平年より6日早く、りんご「ふじ」が4月19日頃で平年より5日早いと予測されます(表2)。

なお、この時期の生育は直前の気温に左右され、今後の気温の推移により大きく変動することがあるため注意が必要です。

また、もも「あかつき」の満開予測は気象庁の気温予報を反映した気象予測では、4月11日頃で平年より7日早いと予測されます。

表2 開花予測日[発育速度(DVR)モデルによる発育予測:4月1日現在]

|      | 開花日   |       | 気象予報  | 今後の気温経過 |       |       |
|------|-------|-------|-------|---------|-------|-------|
|      | 昨年    | 平年    |       | 平年並     | 2℃高い  | 2℃低い  |
| あかつき | 4月9日  | 4月12日 | 4月5日  | 4月9日    | 4月6日  | 4月11日 |
| 幸水   | 4月17日 | 4月19日 | 4月13日 | 4月17日   | 4月15日 | 4月20日 |
| ふじ   | 4月20日 | 4月24日 | 4月19日 | 4月24日   | 4月20日 | 4月29日 |

注1)開花日の平年は1996～2025年の平均値。

注2)今後の気温経過の気象予報とは、気象庁が発表している週間予報、2週間気温予報及び1ヶ月予報気温(3～4週目の平均気温)を反映し、以降の気温は平年並に経過した場合の予測値。

注3)発育予測は2～3日の誤差を生じる場合があることに留意する。

**3 防霜対策**

開花期から幼果期にかけては、耐凍性が最も低下し凍霜害の危険性が高くなります。気象情報に十分注意し、防霜対策を徹底しましょう。

なお、降霜による被害が見られた場合は、被害状況を確認の上、人工受粉を徹底し結実確保を図りましょう。

事前対策としては、防霜資材を準備するとともに、地温の上昇を図るため下草は5cm程度に刈込みましょう。また、空気や土壌が乾燥していると気温の低下が著しいため、適宜かん水を実施し、土壌水分を確保しましょう。

なお、降霜による被害が見られた場合は、被害状況を確認の上、人工受粉を徹底し結実確保を図りましょう。特に、花粉がない品種若しくは少ない品種においては注意が必要です。

#### 4 病害虫防除上の留意点

##### (1) ナシ黒星病

本病は前年の被害落葉や罹病芽(りん片)が伝染源になります(図1)。

4月1日現在、果樹研究所における初飛散は確認されていませんが、薬剤防除は発芽1週間後を目安に行い、初期感染を防止しましょう。本病の重要な防除時期は開花期前後です。

いずれの品種も開花前～開花後約2週間までは本病に対する感受性が高いため、降雨前防除を基本とし、開花直前に効果の高いDMI剤(県病害虫防除指針参照)を十分量散布しましょう。

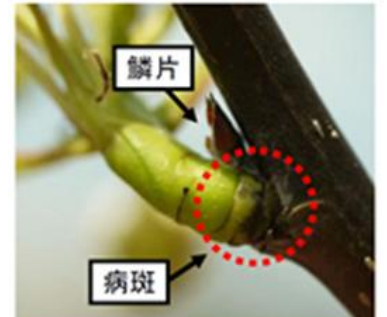


図1 ナシ黒星病の芽基部病斑

##### (2) リンゴ褐斑病

リンゴ褐斑病は、前年度の被害落葉が伝染源となり、子のう胞子を飛ばすことで1次感染します。1次感染期が5月から始まるため、多発生が続く園地では、4月中旬までに落ち葉を細かく裁断するなどして落葉処理を行いましょう。

##### (3) モモせん孔細菌病

本病は、発生初期の密度抑制が重要なため、定期的にはほ場を巡回し、病斑の早期発見とせん除及び開花直前の防除を徹底し、春型枝病斑からの感染防止を図りましょう。なお、開花後の薬剤散布は葉に葉害を生じることがあるので、防除時期が遅れないように十分注意しましょう。薬剤散布後の病斑のせん除は、葉斑により病斑を発見することが困難となる場合がありますが、芽や新梢葉の生育不良を目安に、発病が疑わしい枝は見つけ次第せん除しましょう(図2)。

なお、春型枝病斑のせん除は、発病部位が残らないように病斑部の周辺を含めて可能な限り、基部から切り戻しましょう(図3)。



図2 枝先に発生した春型枝病斑

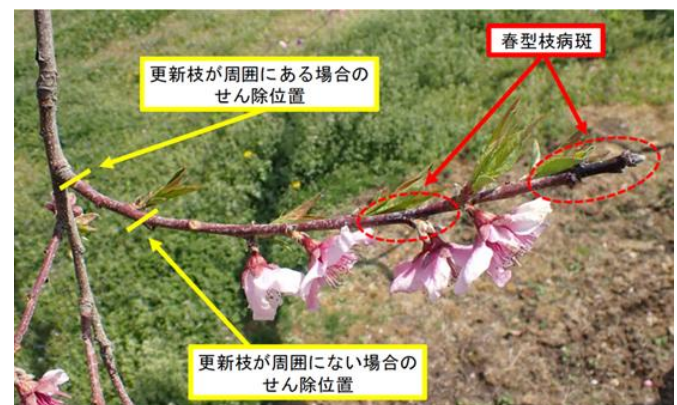


図3 春型枝病斑のせん除位置

作成者: 県中農林事務所須賀川農業普及所  
電話: 0248-75-2181 FAX: 0248-72-8331

ご不明の点は、最寄りのJA または須賀川農業普及所にお問い合わせください。次回の発行予定日は、4月22日(水)です。